



平成23年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年9月7日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 ロック・フィールド

コード番号 2910 URL <http://www.rockfield.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩田 弘三

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部部長

(氏名) 伊澤 修

TEL 078-435-2800

四半期報告書提出予定日 平成22年9月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年4月期第1四半期の業績(平成22年5月1日～平成22年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年4月期第1四半期	11,351	—	522	—	527	—	234	—
22年4月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年4月期第1四半期	17.68	—
22年4月期第1四半期	—	—

(注) 当社は平成22年4月期まで連結財務諸表を作成していたため、平成22年4月期第1四半期の経営成績については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年4月期第1四半期	26,765	21,045	78.6	1,584.64
22年4月期	27,336	21,116	77.2	1,589.94

(参考) 自己資本 23年4月期第1四半期 21,045百万円 22年4月期 21,116百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年4月期	—	12.00	—	22.00	34.00
23年4月期	—	—	—	—	—
23年4月期(予想)	—	18.00	—	22.00	40.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年4月期の業績予想(平成22年5月1日～平成23年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,603	1.2	621	△22.8	615	△24.7	280	△22.7	21.09
通期	47,259	3.2	2,300	14.0	2,291	12.3	1,181	25.0	88.98

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年4月期1Q 13,394,374株 22年4月期 13,394,374株

② 期末自己株式数 23年4月期1Q 113,337株 22年4月期 113,317株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年4月期1Q 13,281,041株 22年4月期1Q 13,281,310株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

また、子会社である株式会社コウベデリカテッセンは重要性が乏しくなったと判断し、当第1四半期累計期間より連結の範囲から除外しました。これにより、当社は連結財務諸表非作成会社となったため、当第1四半期累計期間より四半期財務諸表を作成しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
[四半期累計期間]	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. (参考) 前連結会計年度に係る連結財務諸表	9
(1) 連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書	11
[四半期連結累計期間]	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間（平成22年5月1日～7月31日）における日本経済は、エコポイント等の政府の経済対策効果もあり、個人消費に徐々に回復の兆しが見られたものの、雇用・所得環境の厳しさやデフレの影響等により引き続き厳しい状況が続きました。

食品業界におきましても、消費者の生活防衛意識は強く、価格競争が継続する等、業界を取り巻く環境は依然として厳しいものとなりました。

このような厳しい環境下におきまして、当社は品質管理や衛生管理の徹底による食の安心・安全への取り組みを継続強化するとともに、計画的購買による良質な原材料の安定的確保に努めました。また、全社を挙げた業務改革等の取り組みを推進し、生産性向上・業務効率化により、収益体質の強化を図ってまいりました。さらに、今期の事業計画の3本柱である「サラダカンパニー事業戦略」「食育の実践と提案」「お客様満足100%の推進」実現のため積極的な取り組みを行いました。中でも主力「RF1」ブランドのサラダを強化するとともに、「いとはん・三日坊主」ブランドが展開する「日本のさらだ」や「RF1 Asia・融合」ブランドが展開する「アジアン・サラダ」等、サラダ商品の強化を行うことで「サラダカンパニー」として他社との差別化や新規顧客層の拡大に努めました。

この結果、当第1四半期累計期間における業績は、売上高は11,351百万円、営業利益は522百万円、経常利益は527百万円、四半期純利益は234百万円となりました。

主なブランド別の概況は次のとおりであります。

「RF1」ブランドにおきましては、食育キャンペーン第二弾として食卓でサラダをより美味しく楽しんでいただくためのサラダボウルのプレゼントキャンペーンを行いました。また、6月からは全13ヶ月にわたり「SHOKU-IKU新聞」を店頭で配布し、「食育」をテーマに日本の食を豊かにする取り組みを提案してまいります。商品につきましては、季節の定番サラダの強化に継続して取り組むとともに、新しい取り組みとしてひじきや黒豆、切干大根等の日本の伝統食材を取り上げ、日本女性の美しさを引き出す「女性サポートサラダ」等、新商品の開発にも積極的に取り組んでまいりました。その結果、売上高は8,925百万円となりました。

「神戸コロッケ」ブランドにおきましては、「じゃがいもコロッケ」や「海老と帆立のカツ」等定番商品の改良に加え、「ご当地コロッケ」として日本の食文化や食材の素晴らしさをお伝えすることをテーマとした「鹿児島県産黒豚のコロッケ」や「瀬戸内産タコのコロッケ」等の商品を展開し、お客様に継続してご愛顧いただけるよう取り組みを行いました。その結果、売上高は976百万円となりました。

「ベジテリア」ブランドにおきましては、従来の「フルーツミックス」に野菜を加えた「ベジテリアのミックスジュース」等引き続き野菜系ジュースの強化を行い、他社との差別化と固定客の増加に努めました。また、すいかやプラム等の旬の素材を使用したジュースも好調に推移しました。さらに、夏限定の冷製スープや今期から「野菜たっぷりカレー」の提案を行う等、顧客層の拡大に努めました。その結果、売上高は486百万円となりました。

ブランド別の売上は以下のとおりであります。

業態		平成23年4月期 第1四半期	
		売上	構成比
RF1	サラダ	5,152	45.4
	フライ	1,618	14.2
	その他そうざい	2,154	19.0
	小計	8,925	78.6
神戸コロッケ		976	8.6
いとはん・三日坊主		609	5.4
RF1 Asia・融合		199	1.7
ベジテリア		486	4.3
その他		155	1.4
合計		11,351	100.0

(注) 当社は、前年同四半期は四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期との経営成績の比較は行っておりません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末の資産合計は、主に現金及び預金の減少568百万円、売掛金の増加413百万円、有形固定資産の減少70百万円等により26,765百万円となりました。

一方、負債合計は、主に法人税等の支払による未払法人税等の減少498百万円、賞与引当金の減少433百万円等により5,719百万円となりました。

純資産合計は、主に四半期純利益234百万円、配当金の支払による利益剰余金の減少292百万円等により21,045百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は78.6%、1株当たり純資産は1,584円64銭となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、期首に比べて588百万円減少し、当第1四半期会計期間末には6,266百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、137百万円となりました。これは主に法人税等の支払額489百万円や賞与引当金の減少額433百万円等による資金の減少要因が、税引前四半期純利益448百万円等による資金の増加要因を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、69百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出85百万円、差入保証金の回収による収入81百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、381百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出98百万円、配当金の支払額247百万円等によるものであります。

(注) 当社は、前年同四半期は四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期との(1)資産、負債及び純資産、(2)キャッシュ・フローの比較は行っておりません。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年6月8日に公表いたしました業績予想と変更はございません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益がそれぞれ1百万円減少し、税引前四半期純利益が66百万円減少しております。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

当第1四半期会計期間末
(平成22年7月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	6,496
売掛金	3,887
製品	61
仕掛品	56
原材料及び貯蔵品	167
その他	400
貸倒引当金	△1
流動資産合計	11,068
固定資産	
有形固定資産	
建物（純額）	7,924
土地	3,003
その他（純額）	2,017
有形固定資産合計	12,945
無形固定資産	205
投資その他の資産	
その他	2,553
貸倒引当金	△8
投資その他の資産合計	2,545
固定資産合計	15,696
資産合計	26,765
負債の部	
流動負債	
買掛金	1,179
1年内返済予定の長期借入金	396
未払法人税等	34
賞与引当金	248
その他	2,736
流動負債合計	4,595
固定負債	
長期借入金	700
その他	422
固定負債合計	1,123
負債合計	5,719

(単位：百万円)

当第1四半期会計期間末
(平成22年7月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	5,544
資本剰余金	5,861
利益剰余金	9,832
自己株式	△209
株主資本合計	21,028
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	16
評価・換算差額等合計	16
純資産合計	21,045
負債純資産合計	26,765

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年7月31日)
売上高	11,351
売上原価	4,845
売上総利益	6,506
販売費及び一般管理費	5,983
営業利益	522
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	2
その他	4
営業外収益合計	8
営業外費用	
支払利息	3
その他	0
営業外費用合計	4
経常利益	527
特別損失	
固定資産除却損	14
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	64
特別損失合計	78
税引前四半期純利益	448
法人税等	213
四半期純利益	234

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期累計期間
(自 平成22年5月1日
至 平成22年7月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	448
減価償却費	334
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△433
受取利息及び受取配当金	△4
支払利息	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	64
固定資産除却損	14
売上債権の増減額 (△は増加)	△413
たな卸資産の増減額 (△は増加)	41
仕入債務の増減額 (△は減少)	14
その他	281
小計	350
利息及び配当金の受取額	5
利息の支払額	△3
法人税等の支払額	△489
営業活動によるキャッシュ・フロー	△137
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△20
有形固定資産の取得による支出	△85
無形固定資産の取得による支出	△18
長期前払費用の取得による支出	△23
差入保証金の差入による支出	△3
差入保証金の回収による収入	81
その他	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△98
リース債務の返済による支出	△35
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△247
財務活動によるキャッシュ・フロー	△381
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△588
現金及び現金同等物の期首残高	6,854
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,266

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社は、そうざい事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. (参考) 前連結会計年度に係る連結財務諸表
(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成22年4月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	7,175
売掛金	3,474
製品	64
仕掛品	67
原材料及び貯蔵品	194
その他	691
貸倒引当金	△1
流動資産合計	11,666
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	8,523
土地	3,003
その他（純額）	1,489
有形固定資産合計	13,016
無形固定資産	
投資その他の資産	211
その他	2,383
貸倒引当金	△8
投資その他の資産合計	2,375
固定資産合計	15,602
資産合計	27,269

(単位：百万円)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成22年4月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	1,164
1年内返済予定の長期借入金	402
未払法人税等	532
賞与引当金	682
その他	2,335
流動負債合計	5,118
固定負債	
長期借入金	794
その他	309
固定負債合計	1,103
負債合計	6,222
純資産の部	
株主資本	
資本金	5,544
資本剰余金	5,861
利益剰余金	9,820
自己株式	△209
株主資本合計	21,016
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	29
評価・換算差額等合計	29
純資産合計	21,046
負債純資産合計	27,269

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)
売上高	11,197
売上原価	4,832
売上総利益	6,365
販売費及び一般管理費	5,940
営業利益	424
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	1
保険配当金	9
その他	4
営業外収益合計	16
営業外費用	
支払利息	5
その他	0
営業外費用合計	5
経常利益	434
特別損失	
固定資産除却損	7
特別損失合計	7
税金等調整前四半期純利益	426
法人税等	211
四半期純利益	215

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

前第1四半期連結累計期間
 (自 平成21年5月1日
 至 平成21年7月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	426
減価償却費	340
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△296
受取利息及び受取配当金	△3
支払利息	5
固定資産除却損	7
売上債権の増減額 (△は増加)	△128
たな卸資産の増減額 (△は増加)	27
仕入債務の増減額 (△は減少)	45
その他	310
小計	737
利息及び配当金の受取額	3
利息の支払額	△5
法人税等の支払額	△353
営業活動によるキャッシュ・フロー	383
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△20
有形固定資産の取得による支出	△91
有形固定資産の売却による収入	1
無形固定資産の取得による支出	△31
長期前払費用の取得による支出	△20
投資有価証券の取得による支出	△6
差入保証金の回収による収入	54
差入保証金の差入による支出	△2
その他	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△115
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△197
リース債務の返済による支出	△15
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△292
財務活動によるキャッシュ・フロー	△505
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△237
現金及び現金同等物の期首残高	6,156
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,918